SCHOOL INTRODUCTION

熊本県立南関高等学校

校訓：進取　向学　至誠

会長　多田隈恵美子

校長　重岡　忠希

体育大会

体育大会

本校は、今年度をもって創立以来八十九年の歴史に幕を下ろすことになります。大正十五年淑徳女塾から出発し、南関実科高等女学院、南関高等女学校と改称し昭和二十三年に県立南関高等学校となり現在に至っています。草創期には財政的基盤が脆弱であったため、当時（昭和四～十年）の校主であられた江上新先生が私財を投入して校地を整備され、先生の教育的情熱とその崇高な理想は、今でも本校の精神的支柱となっています。その後は、学校規模、教育内容ともに充実し、今年までに総勢一万千四百人を超す卒業生を社会に送り出してきました。

除草作業

育友会総会

現在、生徒は普通科四コース（情報・美術工芸・スポーツコミュニケーション・ヒューマンコミュニケーション）に分かれ、南関町はもとより地域企業・大学等と連携しながら体験的かつアクティブな学習活動に取り組み、将来への夢を育んでいます。

また、昨年度から新入生の入学がないため、学校行事についてはこれまで以上に地域と一体になって取り組むことが重要です。そこで、育友会の出番です。地域と学校とのパイプ役となり、体育大会でのダンス活動、文化祭での食品バザーなど、生徒以上に大いに盛り上げる名人が多数揃っていることが一番の強みです。

他にも、豊前街道時空遠足における交通指導や炊き出し、朝の正門指導、被災地ボランティア活動など、学校と育友会がしっかりとタッグを組んで生徒たちを見守っています。現在は、十月二十二日（江上新先生の命日：「南関高校の日」）に実施する「南高伝説記念事業」に向け、これまで支えていただいた多くの方々に感謝の気持ちを伝えるための最終準備に取りかかっているところです。フットワークが軽く、機動力がある点が育友会の長所です。どうぞ最後までご支援、ご協力を宜しくお願い致します。

PTA 指導者研修発表

育友会挨拶運動

時空えんそく

親の学び講座

文化祭

SCHOOL INTRODUCTION

熊本県立苓明高等学校

校訓：報恩　勤労　創造

会長　吉永　千恵

校長　松坂　秀男

餅つき

餅つき

本校は、天草農業高等学校から平成五年に苓明高等学校に校名変更し、天草実業学校から数えて九十六年目を迎えます。「地域に根ざし、夢に挑戦する学校づくり～天草の宝、子どもの健全育成～」というスローガンのもと、地域の人々に愛され、期待される生徒を育成し、地域に貢献する人材を輩出してきました。苓明高等学校の校章は、周囲に校花のコスモスの八枚の花びらを、中心には苓明の光を表す形をデザインしてあり、中の正五角形は、普通科・商業科・園芸科学科・食品科学科・生活情報科の五学科を表しています。生徒が目標を持ち、夢に挑戦することで、自分に対する自信と他者に対する思いやりのこころを育てることを目標としており、平成二十三年には天草市と「オリーブの島づくり」の協定を締結して共同研究に取り組んでいます。

陶芸体験研修

また本校では、「いいとこ発見伝」と題して毎日生徒のいいところを発見し「認め、ほめ、励まし、伸ばす」取り組みを行っています。そしてたくさんの生徒と、それを見つけた職員の「いいとこ表彰」を学期毎にしています。また、ボランティア活動は、毎月多くの生徒が休日に参加し、地域の清掃活動をして頑張っています。

育友会活動としては、七月に陶芸研修、十一月の文化祭前に寄せ植え研修を行い、できあがった作品を文化祭で展示します。夏休み中には苓明・苓洋・天草拓心三校で親善ミニバレー大会を行い、会員の皆さんと先生方の親睦を深めています。学校行事の苓明祭では多くの会員が参加し、チャリティ餅つきを行います。昨年は集まった全額を平成二十七年九月の関東・東北豪雨災害へ寄付しました。十二月のウォークマラソン大会では沿道の交通指導や豚汁の炊き出しを行い、ゴールした生徒に振る舞うなど、会員の皆さんが力を合わせ、様々な取り組みを積極的に行っています。苓明高等学校最後の年、全国高校ＰＴＡ連合会千葉大会で表彰を受けることとなりました。生徒と職員を支援し、来年からは天草拓心高等学校本渡校舎へ育友会活動のよき伝統を引き継いでいきます。

寄せ植え研修

豚汁調理風景

ミニバレー